

■ 特別講演Ⅱ（第2会場 13：30～15：00）

歯科技工における CAD/CAM の潮流

～ CAD/CAM システムを上手く使いこなすために

歯科技工士が知っておくべきこととは～

（社）京都府歯科技工士会

日技認定講師 岡田 尚士

歯科界において、CAD/CAM システムを応用した歯科技工術式が、近年になり短期間のうちに導入が始まり、数多く臨床に供されるようになって来ました。歯科界に当初導入されたシステムは、自費対応用のシステムが主流であったため、多くの歯科技工所に導入されることは無く、センター方式がメインとして CAD/CAM 市場がじわじわと拡大してきたと言えます。

しかし今日に至っては、工業界から応用化された各種 CAM システムが登場し始めてからスキャニング・システム (CAD) には大きな変化がないにしても加工技術 (CAM) が多岐に亘るようになり、ミリング・システムからラピッドプロトタイピング・システムやレーザーシタリング・システムへと術式が拡大してきています。さらに、「オープン化」と言った合言葉が言い表すように、1社のみでのシステム対応ではなく、スキャニング・データを他社システムにデータ送信を行い、レジン材、ワックス材、ジルコニア材、金属 (合金) 材などの種々な材料に変更して、別媒体で成形体 (加工物) を得ることができるようになってきました。

本日は、歯科技工界に導入されている CAD/CAM システムに注目し、臨床現場で如何にして活用すれば良いのか？また、上手く扱うにはどうしたらよいのか？などについて、お話をさせて頂きたいと思います。過去から現在、そして現在から将来へのトレンドについても演者の私見を交えながらご紹介させて頂きたいと思います。

■ 講師のプロフィール



岡田 尚士

【略歴】

1956年 8月 愛知県名古屋市に生まれる
1978年 3月 東海歯科技工士学校(現:東海歯科医療専門学校) 卒業
1979年 3月 同 校 専修科(現:専攻科) 修了
1979年 4月 同 校 奉職
1985年 6月 同 校 退職
1985年 7月 (株)松 風 本社・営業部学術2課 入社
1987年 5月 (社)京都府歯科技工士会臨床講座講師
1992年12月 (社)日本歯科技工士会 生涯研修認定講師
1998年 4月 (社)京都府歯科技工士会理事
2004年 4月 (社)京都府歯科技工士会常務理事
2006年 4月 (社)京都府歯科技工士会東山山科支部副支部長
2008年 4月 (社)京都府歯科技工士会専務理事
現在に至る

【主な著書】

- 1) 鋳造床製作にあたっての理論的な考え方と実際への応用(その14)
歯科技工:Vol. 9(3), 239~250, 1981.
- 2) 鋳造床製作にあたっての理論的な考え方と実際への応用(その15)
歯科技工:Vol. 9(4), 361~370, 1981.
- 3) 鋳造床製作にあたっての理論的な考え方と実際への応用(その16)
歯科技工:Vol. 9(5), 467~478, 1981.
- 4) 鋳造床製作にあたっての理論的な考え方と実際への応用(その17)
歯科技工:Vol. 9(6), 543~544, 1981.
- 5) 鋳造床製作にあたっての理論的な考え方と実際への応用(その18)
歯科技工:Vol. 10(4), 371~387, 1982.
- 6) 鋳造床製作にあたっての理論的な考え方と実際への応用(その19)
歯科技工:Vol. 10(6), 519~532, 1982.
- 7) 鋳造床製作にあたっての理論的な考え方と実際への応用(その20)
歯科技工:Vol. 11(1), 87~99, 1983.
- 8) 鋳造床製作にあたっての理論的な考え方と実際への応用(その21)
歯科技工:Vol. 11(2), 207~218, 1983.
- 9) ポーセレンワークのすべて-松風ユニボンドとユニボンドヴィンテージ-
歯科技工別冊:70~79, 1992.
- 10) チタンの歯科技工-アーク融解方式遠心加圧吸引鋳造機「ヴァルカン-T」による純チタン鋳造システム-QDT別冊:128~136, 1993.
- 11) いまチタン鋳造を考える(下)-チタン対応鋳造機「ヴァルカン-T」と純チタン鋳造システム-歯科技工:Vol. 21(9), 924~925, 1993.
- 12) 歯科複模型用シリコーン印象材デュプリコーンの効果的な利用法
デンタルエコー:Vol. 96, 22~32, 1994.
- 13) 新しい鋳造方式を採用したチタン対応鋳造機「ヴァルカン-T」のチタン鋳造の考え方とその実際-デンタルエコー:Vol. 98, 24~33, 1994.